

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	トリプルネガティブ乳癌再発危険因子の検討と早期発見の適切な画像診断時期		
2. 対象患者	トリプルネガティブ乳癌と診断され、下記期間中に当科で手術治療を受けた患者さん43例		
3. 対象となる期間	2005年1月1日 ~ 2014年12月31日		
4. 実施診療科等	乳腺外科		
5. 研究責任者	氏名	西村 顕正	所属 周産母子センター
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	トリプルネガティブ乳癌とはエストロゲン受容体陰性、プロゲステロン受容体陰性、HER2タンパク陰性の乳癌のことを指し、早期再発症例が多いため予後不良であり、再発すると早期死亡が多いことが知られています。最近薬物療法や画像診断法は大きな進歩を遂げ、転移乳癌の生存率も改善しています。特に転移個数の少ない症例に限れば病勢の制御も期待できる症例も存在し、再発の早期発見が重要であります。しかし、乳癌術後の適切な画像診断の時期および間隔については不明であります。		
8. 研究の目的	対象患者さんの診療録より、臨床所見、手術所見、術後所見などを検討し、早期再発症例の特徴と適切な画像診断時期を明らかにすることです。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	対象患者さんの診療録を利用し、臨床所見、病理学的所見と再発の有無と時期を利用し、臨床病理学的因子と再発の有無との関連性や再発時期を見出すことで、早期再発症例の特徴と適切な画像診断時期を明らかにします。		
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属するセンターでは、開示すべき利益相反はありません。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 周産母子センター 西村 顕正		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080